

東区のこれからのまちづくり



2019年4月 東区役所

1 熊本市の現況・東区の現況

- 2 東区の考えるまちづくりのあり方・方向性
- 3 まちづくりに向けた区の体制整備
- 4 まちづくりの取り組み
- 5 最後に

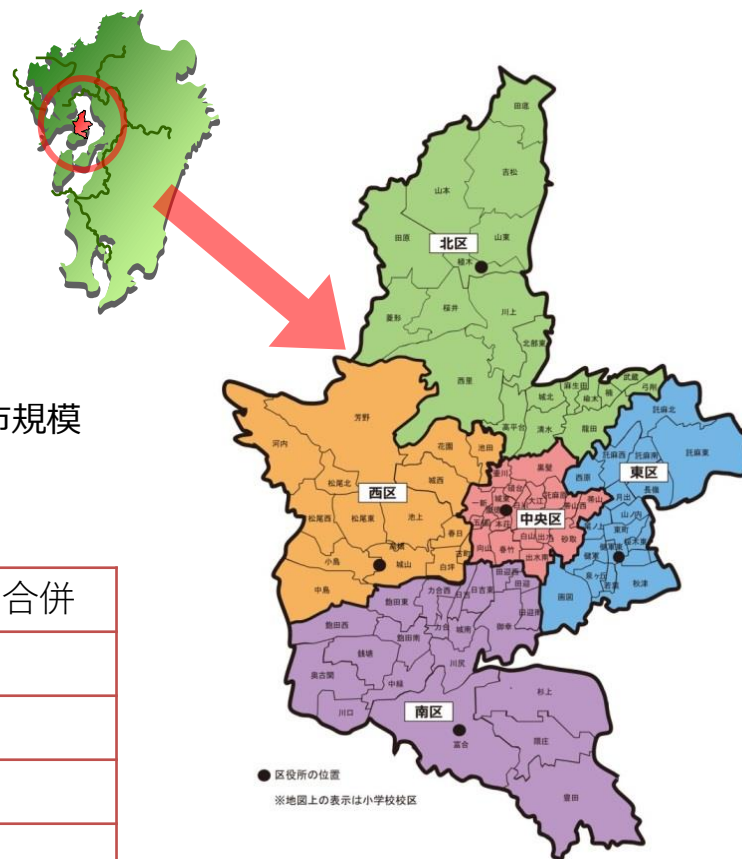
1 熊本市の現況・東区の現況

① 熊本市の概要

- ・ 人口 : 731,044人 (340,265世帯)
※住民基本台帳人口 2019年4月1日現在
- ・ 面積 : 390.32 km²
- ・ 人口密度 : 約1,900人
※北九州市 (約2,000人)、京都市 (約1,800人) に近い都市規模

【熊本市の沿革】

平成 3年 2月	飽託郡4町 (北部・河内・飽田・天明) と合併
平成 8年 4月	中核市
平成20年10月	下益城郡富合町と合併
平成21年 4月	市制施行120周年
平成22年 3月	下益城郡城南町、鹿本郡植木町と合併 人口が73万人となる
平成23年 3月	九州新幹線全線開業
平成24年 4月	政令指定都市へ移行
平成28年 4月	熊本地震



全国で20番目、
九州で3番目の
政令指定都市に

1 熊本市の現況・東区の現況

② 東区の概要

- ・ 人口 : 189,311人 (85,561世帯)
※住民基本台帳人口 2019年4月1日現在
- ・ 面積 : 50.19 km²
- ・ 人口密度 : 約3,800人

【東区の特徴】

- 5区の中で最も人口が多い。
- 商業施設や医療機関、福祉施設等が多い。
- 託麻三山や運動公園、江津湖の自然が広がり、都市の利便性と自然と調和した地域。



1 熊本市の現況・東区の現況

③ 熊本市における総人口の長期的推移

- ・ 今後は、65歳以上人口が大幅に増加（約5万人増加：2015年→2050年）
- ・ 経済活動を支える15～64歳人口が大きく減少（約11万人減少：2015年→2050年）

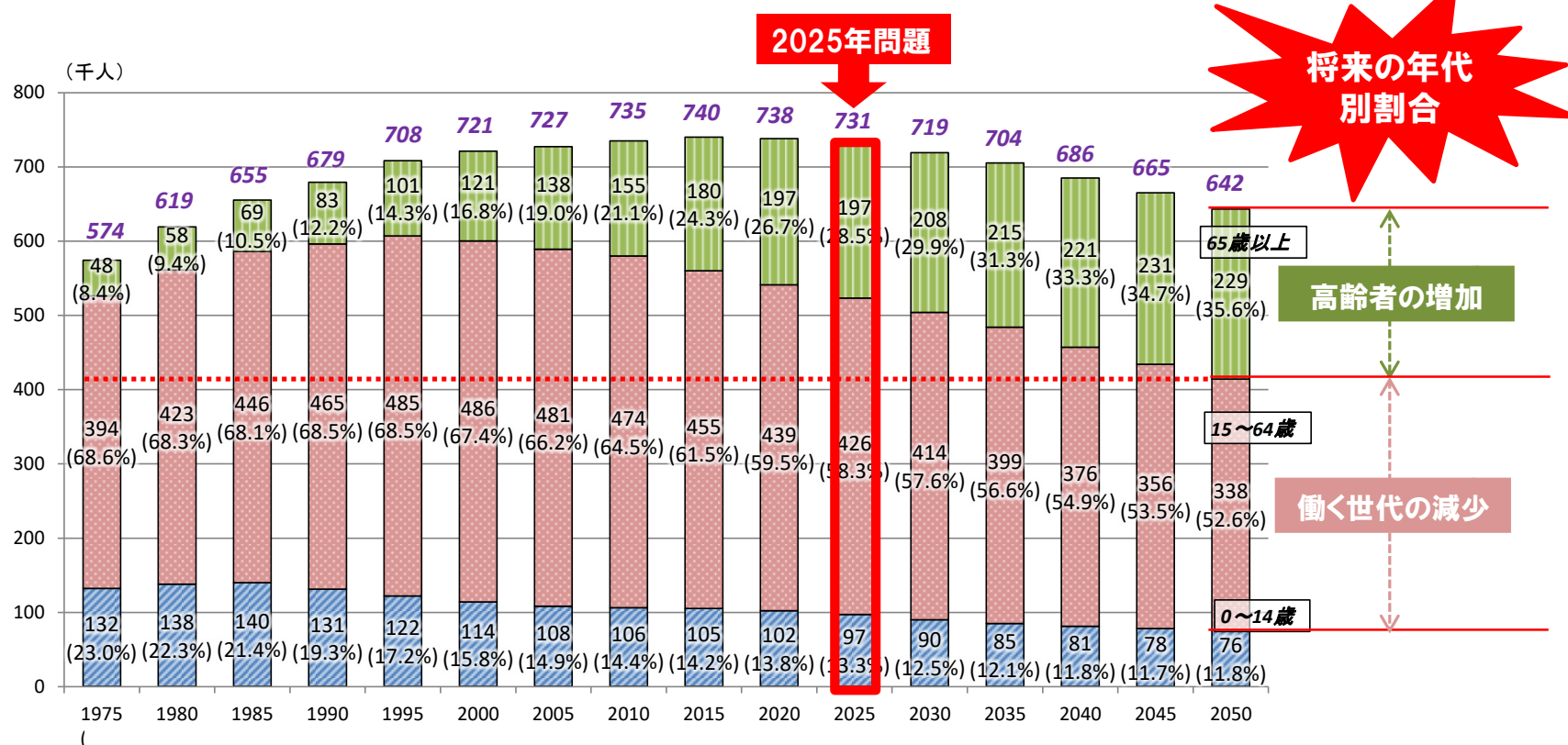


図 熊本市の将来人口推計
資料) 国勢調査及び熊本市人口ビジョン(趨勢のまま推移した場合の将来人口)

1 熊本市の現況・東区の現況

2 東区を考えるまちづくりのあり方・方向性

3 まちづくりに向けた区の体制整備

4 まちづくりの取り組み

5 最後に

2 東区の考えるまちづくりのあり方・方向性

① なぜ、今、まちづくりなのか

少子化、超高齢化の進展

- 地域におけるまちづくりの担い手が不足
- 地域における人と人とのつながりが希薄化



地域コミュニティの機能（地域力）が低下し、
地域課題が未解決なまま放置される懸念



熊本地震による被災

- 発災直後の行政の対応の限界
- 地域における助け合いの大切さの再認識



日頃からのつながりづくりの気運の高まり
地域における課題解決力強化の必要性の認識



自主自立のまちづくりへの支援強化

2 東区の考えるまちづくりのあり方・方向性

② 東区が考えるまちづくりのあり方

～ 自然豊かな 笑顔あふれる未来のまち 東区 ～

東区は、豊かな自然環境と快適でにぎわいのある住環境の中で、自然とふれあい、みんなの笑顔があふれ、活気に満ちた未来のあるまちを目指していきます。

(東区まちづくりビジョンより)

～ まちづくりの基本方針 ～

基本方針1 人と人とがつながり世代を越えて語り合えるまち

基本方針2 誰もが安全で安心して過ごせるまち

基本方針3 誰もがいきいきと暮らせるまち

基本方針4 美しい自然を守り育てふれあえるまち

基本方針5 暮らしやすく活気あふれるまち

具体化

東区ささえあいプラン

(熊本市東区地域包括
ケアシステム推進方針)

2 東区の考えるまちづくりのあり方・方向性

③ 2019年度の重点的取組み

◆被災者に対する生活再建支援

恒久的住まいへの移行支援はもとより、恒久住宅移行後の孤立化防止や新たなコミュニティの構築等の支援にオール東区で取り組みます。

◆地域力の向上

地域包括ケアシステムの構築や地域防災力の強化等を通じて、区の特性をいかしたまちづくりを推進し、自主自立のまちづくりに向けた総合的な地域力の向上に取り組みます。

◆窓口改革等の推進

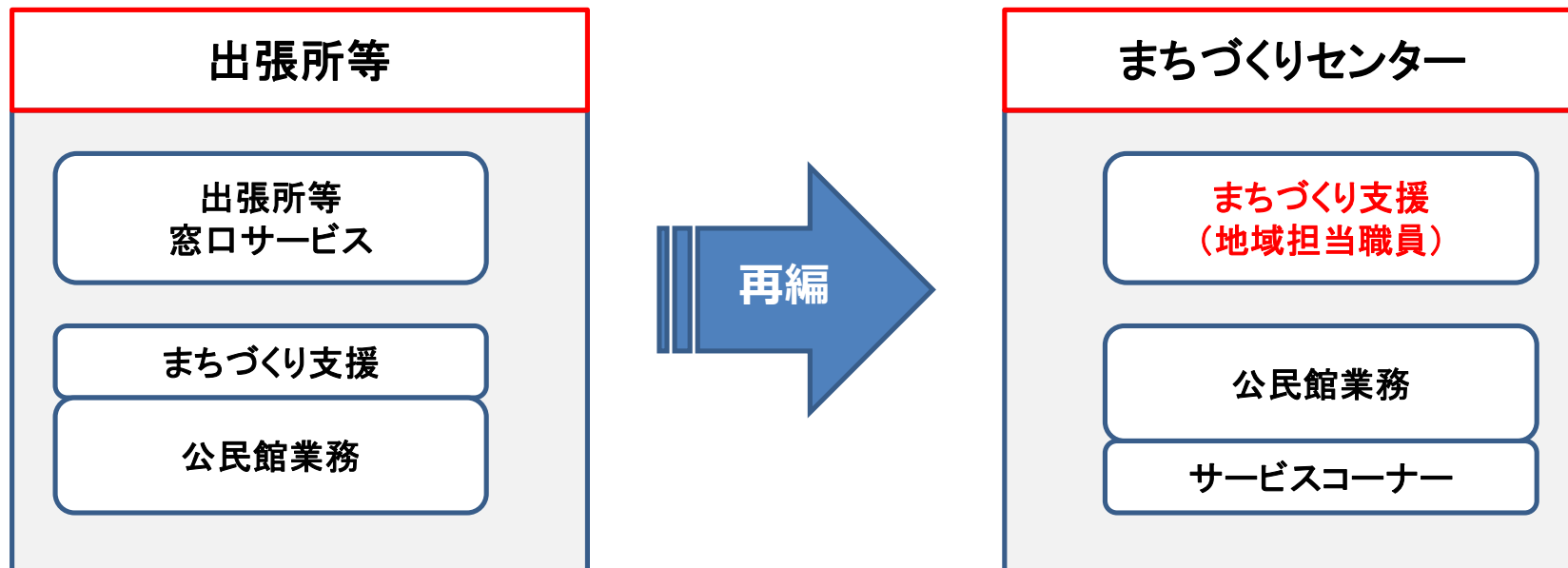
市民が利用しやすく、職員も働きやすい窓口の実現に向けて、窓口改革の更なる推進と職員の人材育成に努めます。

-
- 1 熊本市の現況・東区の現況
 - 2 東区を考えるまちづくりのあり方・方向性
 - 3 まちづくりに向けた区の体制整備**
 - 4 まちづくりの取り組み
 - 5 最後に

3 まちづくりに向けた区の体制整備

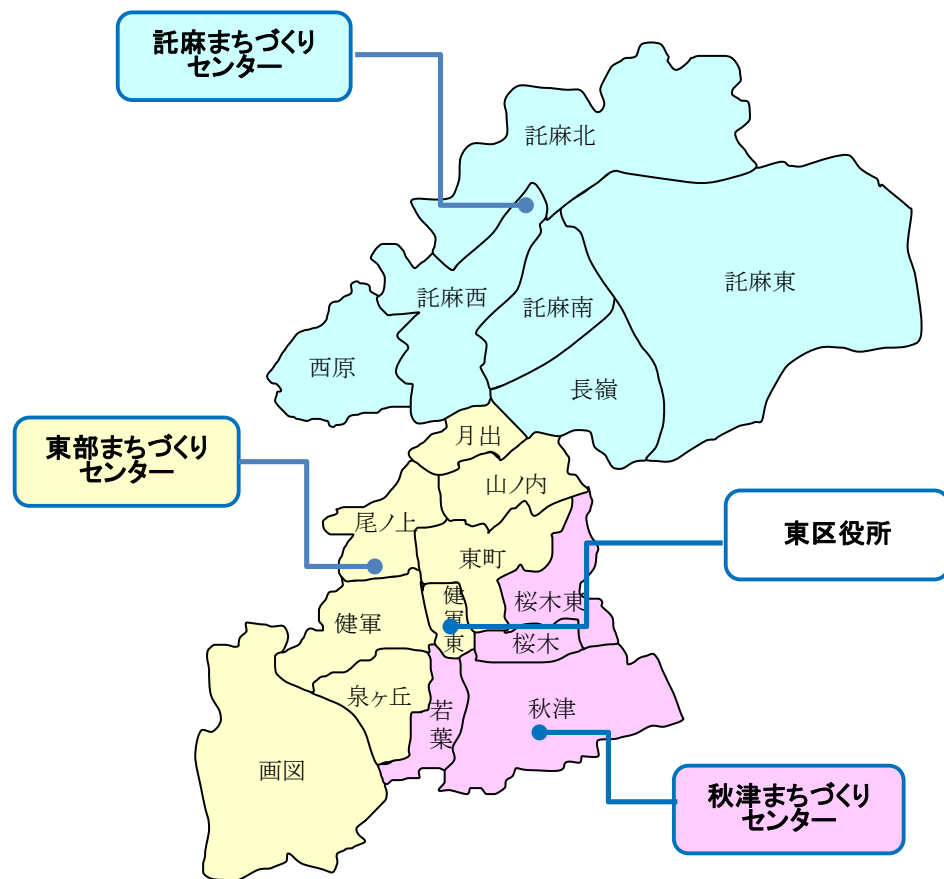
① まちづくりセンターの設置

- ◆今までの「まちづくり交流室」と「公民館」の役割の明確化と連携体制の強化を図るため、まちづくり交流室・出張所等を改編して市内17ヶ所に「まちづくりセンター」を設置。
(東区は託麻、秋津、東部の3ヶ所に設置)
- ◆市内17ヶ所の「まちづくりセンター」に地域担当職員55名を配置。
(東区地域担当職員は9名を配置)



3 まちづくりに向けた区の体制整備

② 東区まちづくりセンターの概要



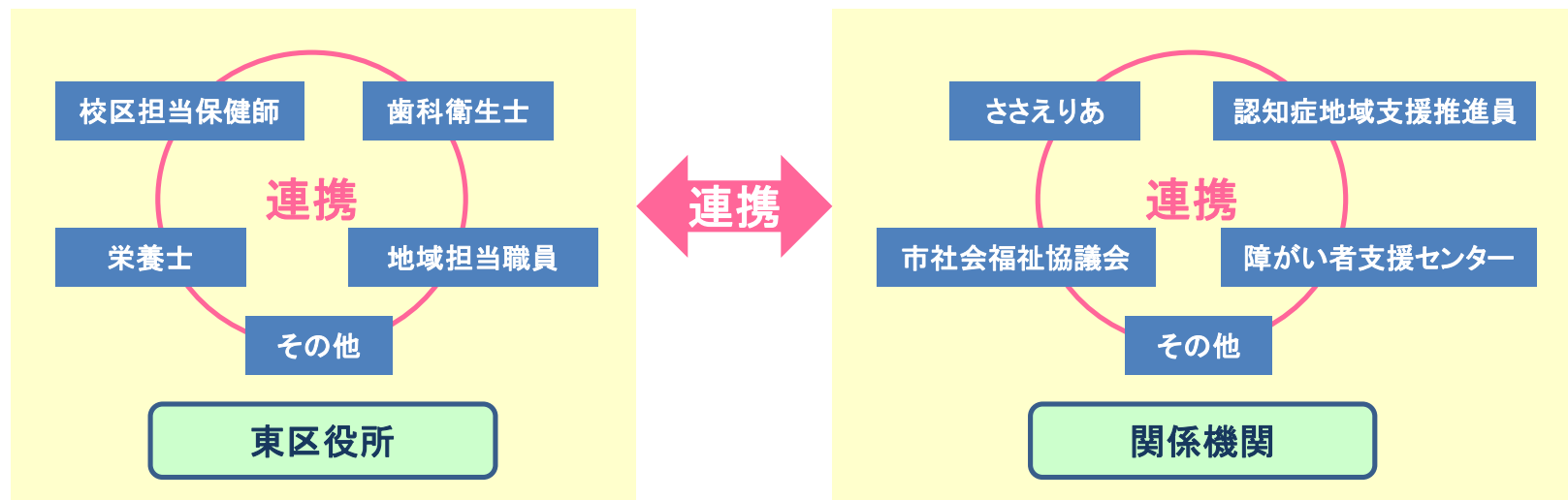
地域担当職員（2019年度）

管内	校区	地域担当職員
託麻まちづくりセンター	託麻北	岡本 亮介
	託麻東	
	長嶺	桂 貞雄
	西原	
	託麻南	松村 悠
秋津まちづくりセンター	託麻西	
	桜木	北口 万起
	桜木東	
	秋津	前田 朋子
東部まちづくりセンター	若葉	
	東町	上坂 恭士
	山ノ内	
	健軍	小倉 真奈美
	尾ノ上	
	画図	島田 朋幸
	泉ヶ丘	
	健軍東	東 絵美
	月出	

地域の特性をいかした校区単位のまちづくりを推進

3 まちづくりに向けた区の体制整備

③ 東区まちづくり担当実務者連絡会の設置（H30.6月）



【まちづくり担当実務者連絡会の設置】

組織を横断した連携体制の構築により**実務担当者間の情報共有**を図るとともに、各部署が直面している課題等を共有し、**実効性の高い地域づくりの推進方法を検討**する。



まちづくり担当実務者連絡会
キックオフミーティングの様子

-
- 1 熊本市の現況・東区の現況
 - 2 東区を考えるまちづくりのあり方・方向性
 - 3 まちづくりに向けた区の体制整備
 - 4 まちづくりの取り組み
 - 5 最後に

4 まちづくりの取組み ①2019年度東区まちづくり推進経費

まちづくりの基本方針

予算額 18,000千円

基本方針1 【人と人とがつながり、世代を超えて語り合えるまち】

- ✓ 地域コミュニティ活動への参加促進
- ✓ 地域団体の育成・支援
- ✓ 地域の歴史・文化の活用



基本方針2 【誰もが安全で安心して過ごせるまち】

- ✓ 防犯活動の推進
- ✓ 交通安全対策の推進
- ✓ 災害に強いまちづくり



基本方針3 【誰もがいきいきと暮らせるまち】

- ✓ 健康づくり活動の推進
- ✓ 子どもの育成環境づくり
- ✓ みんなで助け合う福祉のまちづくり



基本方針4 【美しい自然を守り育てふれあえるまち】

- ✓ 地域自然の保全と活用
- ✓ まちの美化活動の推進



基本方針5 【暮らしやすく活気あふれるまち】

- ✓ 地域に根ざした経済の活性化
- ✓ 生活環境の整備促進



No.	事業名	事業概要	予算額
1	地域コミュニティづくり支援補助金	地域団体が主体的かつ継続的に行う地域コミュニティの活性化や地域課題の解決に向けた取組みに対して活動費の一部を助成する。	3,123
2	東区民まつり開催経費	区民相互の交流と親睦を目的として東区民まつりを開催する。	3,300
3	東区民文化スポーツ交流事業	小学生交流サッカー大会やミニバレーボール大会の開催と、地域が行うスポーツや文化交流イベント等への区長賞の提供を行う。	347
4	中学生会議	将来の地域の担い手となる中学生を対象に、地域を知り、地域のためにできることを考えてもらう会議（ワークショップ）を開催する。	328
5	サロン活動支援マッチング事業	サロン活動の充実を目的に、活動者と支援者（ボランティア、NPO、事業所等）のマッチングイベントを開催する。	230
6	あさひばりびんぐ（地域交流スペース）	新たなコミュニティの形成や地域交流・活性化のきっかけづくりの場として秋津まちづくりセンターに地域交流スペースを設置する。	1,436
7	地域防災合同訓練事業	突発的かつ大規模な災害が発生したとの想定で、1年に9校区ずつ、2年で18校区の防災訓練を地域と合同で実施する。	1,745
8	安全安心のまちづくり事業	区内の高校と連携した啓発活動や地域のイベント等でのチラシ・グッズ等の配布を通じて区民の交通安全や防犯意識の向上を図る。	435
9	ちょこつとパトロール	地域全体で子どもや高齢者を見守るために、地域住民がジョギングやウォーキングをしながら挨拶を行う取組みを実施する。	1,900
10	あきつみんなの防災フェスタ	防災講座や体験型のワークショップ等を通じて、子どもから高齢者まで広く防災の知識を学んでもらうフェスタを開催する。	186
11	地域ささえあい推進事業	誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、認知症への理解浸透や地域での見守り訓練等に関係機関と連携して取り組む。	1,442
12	子育て支援ネットワーク活性化事業	子育て支援ネットワーク等の活動支援を行うとともに、地域情報の発信等により安心して子育てができるまちづくりを推進する。	646
13	東区健康まちづくり推進員支援事業	区民の健康づくりを応援するボランティア推進員を養成し、推進員が行う健康まちづくり活動を支援する。	520
14	子どもの食育推進ネットワークを活用した食育の推進	災害時に必要な食の備えや情報を関係機関で共有し、食育啓発活動を通じていざという時に対応できる健康なまちづくりを推進する。	189
15	ボランティア交流会	ボランティア同士の連携や地域とのつながりを深め、地域に根ざした実践活動の拡大を図るための交流会を開催する。	180
16	託麻三山散策ウォーキング	託麻三山の史跡を巡り、自然と触れあひながら地域の文化や歴史に対する意識を深めるためのウォーキングイベントを開催する。	625
17	まちづくり懇話会開催経費	区民の参画により、区の特性をいかしたまちづくりに関する事項について協議を行う懇話会を開催する。	368
18	東区地域活性化支援事業	地域のニーズや課題に迅速かつきめ細かく対応し、課題解決を支援する。	1,000

4 まちづくりの取り組み ②2019年度東区復興支援自治推進経費

事業の概要

熊本市平成28年熊本地震復興基金を活用し、恒久住宅へ移行した被災者の新たなコミュニティ形成や地域での見守り、将来の災害に備えた地域の防災・減災の取り組み等の支援を行います。

【予算額合計】 9,600千円



3. 地域コミュニティ形成・強化支援経費

恒久住宅へ移行した被災者の孤立化防止と地域コミュニティへの参加促進を図るため、交流イベントや通いの場等のきめ細やかな地域情報を提供し、新しい環境の中で安心して生活ができる関係づくりを支援する。

【予算額】 2,000千円

1. 災害公営住宅入居者交流支援経費

災害公営住宅入居者が新たな生活環境で孤立することなく、互いに支え合える関係性の構築に向けて、入居者同士、及び地域住民等との交流を促進するための交流会を開催する。

【予算額】 600千円



4. 地域防災力強化経費

地域と区が連携し、防災教育の実施や防災フェスタの開催、多様な防災訓練の実施等により地域の災害対応力の強化を図るとともに、区内の防災拠点施設の整備を行う。

【予算額】 3,000千円

2. 復興版地域コミュニティづくり支援補助金

自治会をはじめとした地域団体等が行う地域コミュニティ形成の支援や地域の防災・減災に資する活動に対して費用の一部を助成する。

【予算額】 3,000千円
補助率：1/2 上限額：30万円

5. 被災者健康・子育て支援経費

被災し、新たな環境で育児不安を抱えながら子育てをしている世帯を中心に、防災フェスタや地域イベント等の機会を活用して災害時の健康管理・疾病予防や子供を守る防災術に関する健康教育を実施する。

【予算額】 1,000千円



4 まちづくりの取り組み ～ 事例紹介 ～

● 東区民まつり

地域の交流と親睦を深めるために開催。地元の方々や各種団体、学校等に参加していただいています。地域の方々からいただいたご意見やアイデアを参考にしながらお祭りの催しを工夫していきます。



区民まつりチラシ・ポスター



ステージの様子

● 認知症声かけ訓練

訓練を通じて認知症の方の気持ちに配慮した声かけや見守りの仕方を学びます。また、徘徊者をできるだけ早く発見し、無事に保護することができる仕組みを地域の方々と一緒に作っていきます。



声かけの様子



声かけや見守りの説明

4 まちづくりの取り組み ～ 事例紹介 ～

● 中学生会議

自分が住んでいる地域のことを知るとともに地域のために何ができるのかを話し合っていました。H30年度は、熊本県立大学の協力を得て、「東区フェスティバル」を開催しました。



中学生会議の様子

● 校区防災連絡会

大規模災害にも対応できるよう避難所での役割分担やルールなどを地域の皆様と一緒に話し合います。東区では、地域の理解と協力を得ながら連絡会の全校区立ち上げをめざして頑張っています。



校区防災連絡会立ち上げのための打ち合わせ

4 まちづくりの取り組み ～ 事例紹介 ～

● 託麻三山散策ウォーキング

託麻三山の史跡をめぐり、自然と触れ合いながら地域の文化や歴史に対する意識を深めるウォーキングイベントです。

5 k mと8 k mの2つのウォーキングコースと1 5 k mのジョギングコースがあり、平成3 0年度は2 7 0名の方々にご参加いただきました。



大勢の方に参加していただきました



ジョギングコースの様子

-
- 1 熊本市の現況・東区の現況
 - 2 東区を考えるまちづくりのあり方・方向性
 - 3 まちづくりに向けた区の体制整備
 - 4 まちづくりの取り組み
 - 5 最後に

5 最後に

東区では、区民の皆様の「こんなまちにしたい」という想いを実現するため、地域と区役所が積極的に協力・連携して地域の様々な課題解決に取り組むとともに、地域力を最大限に生かしたまちづくりを進め、区民の皆様が心から「このまちに住んでよかった」と思えるまちを築き、次の世代に引き継いでいけるよう、職員一丸となって取り組んでまいります。

ありがとうございました。